

会議結果報告書

1	会議名	ごみ有料化に関する説明会（市民向け説明会）
2	日時	令和3年12月23日（木）18:30～19:30
3	場所	市役所本庁舎4階会議室4・5
4	出席者	（資源循環課）森岡課長補佐 （環境事業センター）永島所長補佐、門倉主査 （市民）参加人数：8人
5	内容	<p>資料に基づき、ごみ有料化に関する説明会を実施した。主な質問と意見は次のとおりであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 直接搬入ごみ処理手数料について、4月から持ち込んだごみの量が100kg以下の場合、1400円で間違いないか。 → そのとおりである。 ● 座椅子を捨てたいのだが、大型ごみに出すべきか燃やせないごみに出すべきか判断を迷っている。どのように出したらよいか教えていただきたい。 → 座椅子は、折り畳んだ状態で一番長い辺が50cm以上の場合、大型ごみに該当する。50cm以下の場合、燃やせないごみとしてお出しいただきたい。 ● スーパーなどでレジ袋を買っているが、その袋を使用してごみを出してよいか。お金を払っていることについて変わりはないのではないか。 → スーパーなどでご購入いただいた袋を指定袋の代わりとして使用することはできない。レジ袋の有料化とごみ有料化は、異なるものである。 ● 指定袋を景品として使用してもよいか。 → 使用することはできない。 ● コンポストの斡旋や紹介を市で実施しているか。 → 斡旋等は実施していないが、購入費に対して補助金を交付している。購入費に対し、3分の1の額を補助しており、上限を25,000円としている。 ● コンポストは具体的にどのような場所で販売しているか。 → ホームセンターなどで販売していると把握している ● 指定袋は記名式か。 → 家庭用の指定袋は記名式ではないが、事業者用の指定袋は記名式である。 ● 不適正に出されてしまったごみの対応を教えていただきたい。 → 啓発シールを貼り、収集しない。しかし、交通上、衛生上支障が出てしまう場合もあるため柔軟に対応をさせていただく。

- 紙おむつと書いた紙を貼って出すことに対し、抵抗がある。貼り紙をせず出せないか。
 - 外見上、紙おむつが入っていることが分かれば、貼り紙をしていただかなくても構わない。また、指定袋に入れて、お出しいただくことも可能である。
- 指定袋を配布することは検討しているか。
 - 全戸には配布しない。生活保護受給世帯などの減免対象世帯に対しては、指定袋の配布を行う。
- 大型ごみの処理費用が他市よりも高いと感じるのだが、なぜ改定するか。
 - 更なるごみの減量を推進することとごみを処理する費用の費用負担を公平にすることを目的に改定する。
- 戸別収集のメリット・デメリットを教えていただきたい。
 - 戸別収集を実施することのメリットは、集積場所を起因とする問題の解消や排出者の責任が明確になることなどが挙げられる。それに対しデメリットは、排出者が明確になることに伴うプライバシーに関する問題や地域のコミュニティが希薄化することなどが挙げられる。

以上